七十一

南村新山之内高之岩中島村と入会秣場山傍示御損境之節御吟
味之上御改一同両村ニ而定之左之通傍示御改之上ニ而
向後異論無之様下ニ而取扱ニ付両村ニ而違乱無之一段之事

一戌四月廿九日秣山境之節両村役人百姓之儀立会見分いたし
小前之者傍示之上日共両村人足方之人足百姓
立会之者共傍示杭建置候事

傍示数左之通

一　山作中之所
一　荻沢之所
一　市井木沢
一　北きの上之事
一　浄信寺之所
一　平山之峯下迄

一　大家所
一　河ニの菴上
一　北平原之所
一　かつら之沢
一　日影之所
一　口元之所

〆　拾弐本

右傍示杭山居ニ柳之品見届南両ニ
数所杭立候處

但傍示杭用意之儀南山村より
取斗之事

文久二年
戌四月廿九日

役人
百姓

七十

当村虻山之内、高宮郡中島村与入相野山仿示相損、境筋相分りかたく候様相成可申ニ付、両村申値之上、左之通仿示相改置候間、向後堅相守可申、又々相損候時者両村申値建替可致候事、

一戌四月十八日入相山境筋両村役人長百姓不残立合見分いたし、小竹ニ而仿示いたし置、同廿一日両村ゟ夫方三四人ツヽ召連、長百姓立会ニ而栗木杭建調候事

入相・入会　共同利用収益地
野山　村で共有する林野
仿示・牓示　境界または境界を示す杭

仿示数左之通

一小次郎谷筋　　一大采筋
一荒谷筋　　一ありこの巻上ェ
一市井木頭　　一水木原谷筋
一水き原上ミノ采　　一からほこ頭
一浄傳采筋　　一同谷筋
一平岩采下モ　　一同谷筋
〆拾弐本

向伏ケ谷御山へり獅々岩目当留メ

都合拾三ケ所

但　仿示杭用栗木代入用悉皆当村懸り
取計候事

文久二年　　役人
戌四月相改置　　長百姓